

ああ上野駅

【作詞】関口 義明
【作曲】荒井 英一

□□□

どこかに故郷の 香りをのせて
入る列車の なつかしさ
上野は俺らの 心の駅だ
くじけちゃならない 人生が
あの日ここから 始まった

就職列車に ゆられて着いた
遠いあの夜を 思い出す
上野は俺らの 心の駅だ
配達帰りの 自転車を
とめて聞いている 国なまり

ホームの時計を 見つめていたら
母の笑顔に なって来た
上野は俺らの 心の駅だ
お店の仕事は 辛いけど
胸にやでっかい 夢がある

ああ上野駅

【作詞】関口 義明
【作曲】荒井 英一

□□■

1.
どこかに故郷の
香りをのせて
入る列車の
なつかしさ
上野は俺らの
心の駅だ
くじけちゃならない
人生が
あの日ここから
始まった

ああ上野駅

【作詞】関口 義明
【作曲】荒井 英一

父ちゃん

僕がいなくなつたんで

母ちゃんの畑仕事も

大変だろいな。

今度の休みには必ず帰るから、

そのときは父ちゃんの肩も

母ちゃんの肩も、

もういやだつていらつまで

叩いてやるぞ、

それまで元気で

待っていてくれよな

ああ上野駅

【作詞】関口 義明
【作曲】荒井 英一



2.
就職列車に
ゆられて着いた
遠いあの夜を
思い出す
上野は俺らの
心の駅だ
配達帰りの
自転車を
とめて聞いている
国なまり



ああ上野駅

【作詞】関口 義明
【作曲】荒井 英一

3
ホームの時計を
見つめていたら
母の笑顔に
なってきた
上野は俺らの
心の駅だ
お店の仕事は
辛いけど
胸にやでっかい
夢がある

End